

「NPO法人全国ストップ・ザ・ロコモ協議会（SLOC）へ参加しよう！」

JCOA元理事長 角南 義文

(1)

1741年、パリ大学 Nicolas Andry が著した L'Orthopedie は古典的 Orthopaedics となり、第2次大戦後は Orthopedic Surgery として大いに発展し、整形外科は大隆盛となった。しかし、少子化、高齢社会で疾病構造の変化により、整形外科は変貌せざるをえなくなっている。

第76回日整会学術集会（金沢）で、山内裕雄名誉教授の座談会：「日本の整形外科を考える」で「整形外科」という標榜が話題となり、整形外科は必ずしも手術療法が主体にならなくとも、保存的治療でも主流となりうるとの意見もあり、整形外科から運動器科へと変わる予感を抱かした。

一方で、平均寿命よりも健康寿命をとということが多くの人々の関心となり、2000年の介護保険制度の創設、Bone and Joint decade 運動、第1次健康日本21、自民党の「健康フロンティア戦略」（平成16年5月）などで「足腰が大切」という社会的気運が生じた。とくに「健康フロンティア戦略」では、今後10年間で健康寿命を2年延伸、要介護者を7人に1人から10人に1人に減少させるという目標が立てられた。

診療報酬上は平成18年度改定で疾患別リハビリテーションが創設され、その中に運動器リハビリテーションが新設されたし、運動器不安定症も採用されたのである。学会でも日本理学診療医学会 → 日本運動器リハビリテーション学会 → 日本運動器科学会となった。

(2)

そういう中で加齢とともに増加する運動器疾患全体を介護予防の観点からロコモティブ・シンドローム（ロコモ）の運動が発生した。

日整会、JCOAをはじめ関連学会では、メタボリック症候群のように国民の健康に役立つよう、ロコモの判定規準を作り広報を行っている。このロコモが国策の一つとして認められたが、現在の17%の認知度をメタボリック症候群のように10年後には80%に高めるように指示されている。

このために、JCOAではロコモの国民への普及と貢献の一手段として、NPO法人（Non Profit Organization 特定非営利活動法人）を平成25年1月15日に

創設した。NPO法人となって活動が無限に拡がりうるものと思われる。JCOA会員もこのNPO法人に多勢の参加をいただき、国民の健康寿命の延伸に貢献しようではありませんか。

また、認定（仮認定）NPO法人という制度がある。認定NPO法人の詳細は紙面の都合で割愛するが、通常のNPO法人に比較し社会的信頼性が高いNPO法人に対して認定する制度で、寄付金等の税制度の特典を国が付与している。

SLOCは、全国規模で国民の健康寿命の延伸という社会的使命を担ったNPO法人であるから、今後はNPO法人に関しJCOAの会員の更なるご理解を深めていただいて、認定NPO法人をも目指そうではありませんか。